

がん対策関連検討会等の進捗状況について

平成25年9月20日

1. がん診療提供体制について

- 平成24年12月「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」を設置し、計3回の検討会の開催により、平成25年4月、拠点病院の格差是正、空白の医療圏に対しがん診療病院（仮称）を設置すること等を旨とする中間とりまとめを行った。
- 平成25年5月以降、検討会の下に設置したワーキンググループにおいて、中間とりまとめを踏まえた検討を行い、平成25年8月、具体的な拠点病院の指定要件等に関する報告書を取りまとめた。
- 平成25年9月、検討会において、ワーキンググループの報告書を踏まえた新たながん診療提供体制の構築を提言する報告書「新たながん診療提供体制について」を取りまとめた。
- 今後、本報告書を踏まえて、拠点病院や地域がん診療病院（仮称）の要件の策定等を進めていく予定。

2. がん研究について

- 基本計画に基づき、「第3次対がん10か年総合戦略」に続く新たながん研究戦略を策定へ向け、具体的な検討を行うため、平成25年4月「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」を設置し、計6回の議論を行い、8月に報告書「今後のがん研究のあり方について「根治・予防・共生 ～患者・社会と協働するがん研究～」」を取りまとめた。
- 今後、本報告書や政府においてとりまとめられる医療分野の総合戦略の検討を踏まえつつ、「第3次対がん10か年総合戦略」に続く新たながん研究戦略を策定し、これに基づきがん研究を推進していく予定。

3. 緩和ケアについて

- 平成24年4月に設置した「緩和ケア推進検討会」において、これまで計12回にわたり、緩和ケアの推進方策を検討。平成24年9月には、緩和ケアセンターの整備と基本的緩和ケアに求められる方策等を盛り込んだ「中間とりまとめ」を行い、平成25年度予算等で対応。
- その後、拠点病院における人材配置や専門的緩和ケアへのアクセスの改善、緩和ケアにおける地域連携等の観点から、議論を深め、「緩和ケアセンター」の具体的推進方策、拠点病院の指定要件に係る事項、医療者に対する緩和ケアの教育体制、緩和ケアの普及啓発等について議論を行い、平成25年8月に「第二次中間とりまとめ」を報告した。
- 今後、「拠点病院の緩和ケア提供体制における実地調査に関するワーキンググループ」を設置して拠点病院の緩和ケア提供体制について実地調査を行い、実態を把握・評価し、検討すべき課題を抽出するとともに、引き続き課題解決のための具体的施策についての検討を進める予定。

4. がん検診について

- 平成24年5月に「がん検診のあり方に関する検討会」を設置し、科学的根拠に基づくがん検診の推進や受診率向上方策等のあり方に関する検討を行っている。
- これまで、主に、若い女性で罹患が増加している子宮頸がんの検診の方法について、検討をいただき、平成25年2月に今後の方策に関する報告をとりまとめていただいた。報告内容を踏まえ、平成25年度予算において、「HPV 検査検証事業」の実施等を行うこととしている。
- その後、検討会において、受診率向上施策や精度管理について検討をいただき、平成25年8月に「がん検診のあり方に関する検討会中間報告書～がん検診の精度管理・事業評価及び受診率向上施策のあり方について～」をとりまとめた。今後は他のがん検診の検診方法等について検討いただく予定。